

都学歯 広報

目次

●会長挨拶	2
●平成29・30年度 役員職務分掌	3
●退任役員・新役員就任挨拶	4
●最近、気になること その10	5
●民生委員・児童委員とは？	5
●地区学校歯科医会からのメッセージ	5
●荒川区学校歯科医会／京橋学校歯科医会	6
●ホームページをお開きください	7
●こんなことが「学校歯科医執務記録」になります	8
●学校歯科医執務記録	8
●地区ニュース	9
●足立／麻布赤坂	10
●トピックス	10
●第9回定時代議員会	11
●平成29年度 各種大会日程	11
●平成29年度 ブロック別学校歯科医研修会日程	12
●会務報告／計報	12

TOGAKUSHI KOHO



一般社団法人 東京都学校歯科医会
 〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
 -0073 TEL. 03-3261-1675
 FAX. 03-3222-6528
<http://www.tasd.or.jp>
 E-mail tasd@tasd.or.jp
 発行人／澤田 章司
 印刷／一世印刷株式会社

119

平成28年度ポスターコンクール優秀作品
 大田区立馬込中学校
 小野鈴太郎

2017. 6



ご挨拶

一般社団法人 東京都学校歯科医会

会 長 末 高 英 世

東京都学校歯科医会の先生方，そして学校歯科保健にご尽力いただいている関係者の皆様方，日頃より本会にご高配を賜りまして心より御礼申し上げます。

さて，平成29年度は役員の改選期であり，6月8日より新執行部となりました。旧執行部から人心一新を図り，また若返りを果たしての新たな船出となります。改めて役員一同，心を引き締め会務執行に励んでいく所存です。

本会の事業には，さまざまな取り組みがありますが，継続事業に関しましては，旧執行部から確実に引き継ぎを行いスムーズな運営を目指して行きたいと考えております。また新規事業に関しましては，新役員の意見を取り入れながら検討して参りたいと思っております。新役員の先生方からは，新たな風を吹き込んでいただけることを期待しているところです。

個別案件となりますが，昨年度学術研究委員会で作成し発刊しました「乳幼児から考える学校歯科保健活動」に関しましては，今後2年間にわたりブロック別研修会で内川喜盛教授（日本歯科大学）よりご講演を賜る予定です。

また，昨年度発刊した「学校歯科医が知っておくべき放射線の知識」に関しましては，学校での歯科保健教育に活用できるように，CDを作成する予定であります。先生方の講話の範囲が広がり，子供たちが正しい知識を身につけられるようにと考えております。昨年，全国各地で引き起こされた原発事故避難者の児童生徒に対するいじめや偏見などが今後は起こらないように，そして心身ともに健やかな成長ができるよう本会としましても後押しできれば幸に存じます。

島しょ支援事業では，過去，大島・八丈島・神津島へと歯科保健活動を行って参りました。その成果には大きなものがあり，さらなる現地からの要望は現在もございます。東京都でありながら遠距離ということでなかなか支援できなかった訳ですが，前執行部から本格的に取り組んだことの評価は，東京都教育庁をはじめとする関係者から高い評価をいただいております。東京都全域で教育の機会均等を図れることが，島の子供たちには大切なことと認識し，歯科保健教育のさらなる充実を図るべく事業を展開して行きたいと考えております。

東京都学校歯科保健研究大会に関しましては，今年度は文京シビックホールで開催する予定であります。多くの学校歯科医，養護教諭など学校関係者のご参加を願い，そして研鑽を積んでいただければ幸いです。それらを子供たちにフィードバックしていくことで，「子供たちが，自分の健康は自分で守り，生涯を通じて健康な生活を送る」ことにつながるものと思っております。

新執行部に対しましても，何とぞ，これまで以上のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます，ご挨拶といたします。

平成29・30年度 役員職務分掌



総括

すえ たか ひで 世
末高 英世
(会長)



副総括・学術

すず き ひし 博
鈴木 博
(副会長)



副総括・事業

なが ぬま よし み
長沼 善美
(副会長)



専務

さわ だ しゅう じ
澤田 章司
(専務理事)



総務(チーフ・専務補佐)

わた なべ あつ 実
渡邊 実
(理事)



総務

や も と おさむ 治
箭本 治
(理事)



広報

おく の けい こ
奥野 圭子
(理事)



会計

たかはし ひろゆき 裕幸
高橋 裕幸
(理事)



事業(チーフ)

さかい かつのり 克典
酒井 克典
(理事)



事業

たかはし ふみ お 文夫
高橋 文夫
(理事)



事業

し みず こういち 浩一
清水 浩一
(理事)



事業

にしむら けん 健
西村 健
(理事)



学術(チーフ)

やまむろ なお こ 直子
山室 直子
(理事)



学術

すず き あい こ
鈴木 あい子
(理事)



学術

やまざき やすし 靖
山崎 靖
(理事)



学術

こ も り ゆきみち 幸道
小森 幸道
(理事)



監査

いしかわ ふみかず 文一
石川 文一
(監事)



監査

さかもと まり こ
坂本眞理子
(監事)

事務局



かい ほ ゆみ こ
海保由美子
(事務局長)



やま うち ちか こ
山内 近子

◆ 退任役員

右記の7名の先生が今回退任されました。長い間会のためにご尽力くださいまして、ありがとうございました。

会 長 川本 強
副会長 小嶋 憲
理 事 中村 卓志
理 事 長井 博昭

理 事 牧野 寛
理 事 後藤 有里
監 事 吉田 慶造
(敬称略)

◆ 新役員就任挨拶

理事 清水 浩一

この度、事業担当理事を拝命いたしました、清水浩一と申します。私は中央ブロックの港区麻布赤坂学校歯科医会に所属しており、今年度より参事もいたしております。7年間広報委員を務めさせて頂いておりましたが、この度選任していただき、新たに身の引き締まる思いであります。地区での経験を生かし、微力でも東京都の学校歯科保健活動のお役にたちたいと考えております。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

理事 西村 健

この度、理事を拝命いたしました文京区学校歯科医会の西村と申します。初回の理事会に出席してみて、先生方の精力的な活動、段取りのすばらしさ、諸々への迅速な対応に心を打たれました。私にこの重責が務まるのか甚だ不安ですが、早く執行部の一員として職務を遂行できるよう全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い致します。

理事 山室 直子

この度、学術担当理事を拝命いたしました。練馬区学校歯科医会所属の山室です。学校歯科医として経験不足である私が大きな組織の大役をおおせつかり、大変緊張しております。少子化日本では「子供」は社会の「宝」です。その子供たちの健やかなる成長のお手伝いが微力ながらできるよう、また会員の先生方のお役に立てよう努力していきたいと思っております。至らない所が多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

理事 鈴木あい子

豊島区歯科医師会、豊島区学校歯科医会所

属、区立池袋小学校の学校歯科医を担当させていただきます。この度、東京都学校歯科医会の学術担当理事を拝命いたしました。不慣れなことが多くご迷惑もおかけすることとは思いますが、少しでもお役に立てますように努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

理事 山崎 靖

杉並区学校歯科医会、杉並区立松庵小学校学校歯科医の山崎です。このたび学術担当理事を拝命いたしました。東京都学校歯科医会の仕事は初めてですが、会員の先生方の学校歯科保健活動に少しでもお役に立てるよう他の先生方と協力して会務を遂行して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

理事 小森 幸道

この度、学術担当理事を拝命いたしました小森幸道と申します。出身校は明海大学です。勤務医を経て平成14年に世田谷区太子堂（実家）で開業し、同時に世田谷区歯科医師会に入会させていただきました。現在、世田谷区立太子堂小学校の学校歯科医をさせて頂いております。初めての東京都学校歯科医会におきまして、どれだけお役に立てるか不安ですが、責務を果たすべく頑張りたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

監事 坂本眞理子

この度、監事を拝命した坂本眞理子と申します。渋谷区初台駅のそばの区立幡代小学校学校歯科医を25年間続けて参りました。また、現在は代々木至誠こども園の園医をしております。将来を担う子供達の健康を守る学校歯科医を支える理事の先生方の職務を見守り、会員の先生方の心に沿った会務を行えるように監事としての職務に務めて参りたいと思っております。

民生委員・児童委員とは？



専務理事 澤田 章司

学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、私たち学校歯科医もさまざまな会や団体に関わっている。私自身は、学校保健委員会、青少年健全育成委員会、学校評議員会などに参画している。

これらの組織に参加している住民代表者には、必ずと言っていいほど民生委員が参加していることを多くの先生方は目にするのではないだろうか。それぞれの立場から同じ目的で参加している割には、民生委員の仕事に関することや民生委員・児童委員制度についてあまり知られていないことも事実である。民生委員がどのような立場で参画しているのかを知ることは、私たちにとっても重要であり理解しておく必要があると考え紹介する。

民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとし、戦後（昭和21年）、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められ、平成29年の今年は100周年を迎える。この間、一貫して生活困窮者の支援に取り組むとともに、時代の変化に応じて新たな活動に取り組むなど、地域の福祉増進のために常に重要な役割を果たしてきている。民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり「児童委員」を兼ねている。「児童委員」は、地域の子供たちが元気に安心して暮らせるように子供たちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行っている。また、一部

の児童委員は、児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けている。

このように地域のために無報酬で働く民生委員であるが、自治体から期待される職務の範囲は、幼児の虐待から高齢者の安否確認までと、その内容は年を追うごとに広範囲となっている。それに伴い求められる能力も高まり、民生委員推薦のハードルを上げる結果にもつながっている。加えて近年、住民意識の変化により地域活動への参加が消極的となり、なり手不足が恒常化している。

こうした状況に対応するため、参加要件の緩和や個人情報の取り扱いガイドラインの検討などが行われている。民生委員と同様に奉仕者として無報酬で活動している人権擁護委員や保護司などを含め、社会として必要な活動を行う方々に対し、特別職公務員として一定の身分保障を行うなど、制度そのものの在り方の再検討を求める意見も多い。

いずれにしても、社会の変遷に伴いながらも子供たちの健康や安全の確保は常に必要であり、社会全体で応援して行かなければならないことは自明の理であるとする。先日も千葉県でベトナム国籍の小学校3年生の女の子が登校中に殺害されたという大変痛ましい事件が起こってしまった。あるいは、大分県では認定こども園に刃物を持った男が侵入し引き起こした傷害事件も記憶に新しい。このような凶悪犯罪が年々増加しているように思えてならないのは、私だけではないと思う。社会全体でそれぞれの立場からそれぞれの支援が、ますます重要となるのではないだろうか。

地区学校歯科医会からのメッセージ

荒川区学校歯科医会

理事 宮坂芳弘

荒川区は関東大震災後、南千住・三河島・尾久・日暮里の4つの町が一つになって昭和7年に誕生しました。東京都の北東部に位置し、台東区・文京区・北区・足立区・墨田区の各区と隣接しています。面積は10.16km²で東西に長くその大部分は平坦ですが、南西部はJR山手線が通る山手台地の一部で、区の北東部には隅田川が流れています。区の中央には東京に唯一残る都電が走り、沿線には桜やバラなど花の見所や歴史・文化に触れられる名所旧跡、生活感あふれる昔ながらの商店街など多様で魅力あるスポットが沢山あります。人口は約21万人で、その約23%が高齢者人口ですが、国家戦略特区制度を活用した公園内保育園の設置や児童相談所の移管に向けた取り組みなど積極的な子育て施策の結果、区内外から子育てしやすい街として評価され、年々子育て世代も増えてきています。

荒川区学校歯科医会は全会員が都学歯・日学歯に入会しており、区立幼稚園（子ども園含む）9園、区立小学校25校、区立中学校（定時制含む）11校、都立高校（定時制含む）2校を担当しています。地区ごとに生徒数の人数により学校歯科医1名と協力医でグループを形成し、グループ制で学校歯科健診を行っています。

う歯予防対策（予防指導・フッ化物洗口）事業は、1967年（昭和42年）より開始、現在に至っています。教育委員会、荒川区議会、荒川区学校保健会をはじめ多くの方のご理解とご協力、また歯科医師会の全会員と（一財）サンスター財団の協力によりこの事業が実現出来ました。単に児童生徒にフッ化物洗口するのではなく、う歯の予防教育により児童生徒に一生自分の歯でおいしく食事を楽しめるように考え理解してもらい、正しい歯みがきの実践、定着化をめざしています。対象は区立小学校3年生、5年生、中学校1年生全員です。時期は1月から2月に行い実施内容は対象学年に応じたむし歯、歯周疾患に対する予防の講話、ブラッシング指導、食生活習慣と規則正しい



生活習慣の習得に対する指導等の歯科医師とサンスターの歯科衛生士による歯科予防指導、フッ化物洗口液7～10mlを30秒～1分間ブクブクうがい（洗口）です。なおリーフレットを作成配布し、正しい歯みがきの取得とその習慣化、う歯罹患率の低下、う歯処置率の増加（むし歯を治してう歯ゼロの児童生徒の増加）を目指しています。

今後の学校歯科保健推進に関しては、(1)給食後の歯みがきについて全校通年実施ができない、学年やクラスごとに実施率にばらつきがある等の課題があるので学務課・教育施設課と連携して、各校の実施状況の共有、情報提供、歯みがきの順番ポスターや歯ブラシによる事故防止啓発ポスター、教員用の手引きの作成配付、水道設備の増設を行い実施の拡大を促すこと、(2)歯科検診・事後指導と支援、(3)口腔健康教育の実施・継続に関しては各種案内文を作成し保護者への啓発を行っているが、家庭用フッ化物洗口用薬剤の引き換え率や家庭でのフッ化物洗口実施率は小学生が20%以下、中学生が30%以下と低いので更なる口腔健康教育を実施すること、(4)家庭・歯科専門家・行政等との連携、(5)むし歯予防に関するアンケート結果のお知らせを作成し歯科保健の広報・啓発活動を行うとともにう歯予防研究会を開催し口腔健康教育啓発事業をより一層活性化すること等を計画しています。また講演会や荒川区学校保健大会にも多くの先生方が参加されています。

今後も荒川区学校歯科医会が保護者・学校関係者・行政・歯科医師会の先生方々と協力して児童生徒の健康維持に寄与していくことが私達の責務と考えています。

京橋学校歯科医会

会長 中村 道

<はじめに>

京橋学校歯科医会は中央区の南半の旧京橋区（京橋・八重洲・銀座・新川・八丁堀・新富・入船・湊・築地・明石町・佃・月島・勝どき・豊海町・晴海）の学校歯科医15名で構成されています。中央区は平成7年には人口63,047人でしたが、主に湾岸地域の高層住宅建設により、その後の20年で2.4倍になり、平成29年1月には15万人を突破しました。このうち15歳未満の人口も2.7倍に増加し、2020年のオリンピック・パラリンピックの選手村が晴海に開設されることもあり、活気を呈しています。このような地域で園児・児童・生徒の歯科保健を担当する当会の活動についてご紹介いたします。

<定期会合>

当会では定期的に以下の会合を開催しております。

1. 理事会

5名の理事と3名の顧問で当会の諸問題について検討、協議します。

2. 協議会

年度の始めに中央区教育委員会のご担当の方々と当会全会員で年度の事業計画の検討やスケジュールの確認、各種イベントへの出張者の決定や情報交換を行います。

3. 養護教諭との懇談会

養護教諭の代表と当会理事で意見交換、相談をします。今年度、歯や口の外傷への対応について急ぎ検討することになりました。

4. 中央区学校歯科医会合同懇親会

中央区教育委員会、中央区のもう一つの学校歯科医会である日本橋学校歯科医会の方々と年に1度の情報交換を兼ねた親睦の会です。

<歯科医師会との連携事業>

当会は京橋歯科医師会のご理解とご指導、多大なるご支援をいただいております。歯科医師会と



当会が連携している学校歯科保健に関連する事業を紹介いたします。

1. 新入児童への歯みがきセットの贈呈

毎年、新入小学1年児童に、歯ブラシと歯みがきペースト、うがい用のコップを進呈しています。今年は900人近い小学1年生が入学しました。10年前の1.5倍です。

2. 図画ポスター応募作品の紹介

平成17年から毎年図画ポスターの応募作品の画像を歯科医師会のホームページ (<http://www.migakun.com/>) に掲載しています。12年間で1,819作品が集まりました。児童・生徒や両親がこれらを目にするのを契機に口腔衛生への関心が高められることを期待されます。

3. 講演会の共催

学校歯科保健に関する講演会を歯科医師会と共催しています。昨年は6月に「小児の外傷について」と題する東京医科歯科大学小児歯科、宮新美智世先生の講演会が中央区の学校歯科保健関係者に開放して開催されました。

また、本年7月の例会では、成長期の不正咬合について学校歯科医の立場から歯科医師会員に説明する講演会が企画されています。

<おわりに>

昨年第80回全国学校歯科保健研究大会が東京都学校歯科医会のご尽力で盛大に開催されました。当会からもポスターを発表しましたが、口腔状況は良好にも関わらず、咀嚼機能の発達に不安を感じさせる調査結果もみられました。今後は機能増進も含めて学校歯科保健にさらに貢献できるよう務めたいと考えております。

ホームページをお開きください

<http://www.tasd.or.jp/>

東京都学校歯科医会会員の先生方には常日頃、お世話になっております。
会員のページには「会員名簿」や「都学歯ライブラリー」を掲載しております。
ご利用下さい。



会員のページにアクセスするには「ID」と「パスワード」が必要です。広報誌に同封の別刷をご確認ください。お忘れな場合は事務局へ連絡してください。

会員の先生方のご意見など反映できるように努力していきたいと考えております。ぜひホームページをお開きください。
(広報委員会)

● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になりません。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

9 ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。

認 印 欄	(学校長)
-------------	-------

年 月 日

学 校 歯 科 医 執 務 記 録

		執務者氏名	⑩
執務日時	月 日 () 午前・午後 全 日	執 務 場 所	学校, 診療所 (来訪電話等), 研修会, 大会, その他 ()
執 務 の 概 要			
項 目		記 事	
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他			
2 定期健康診断			
3 就学時健康診断			
4 臨時健康診断			
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他		特 記 事 項	
6 学校保健に関する研修会, 大会等			
7 授業参加			
8 学校行事に参加			
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他			

注意事項

- 1 学校歯科医は, 職務に従事したとき, その状況をこの執務記録に記入し, 校長に提出してください。
- 2 この執務記録は, 執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも, 1枚にまとめて記入してください。
- 3 学校以外の場所で執務した時は, 出校時に記入してください。

足立区学校歯科医会主催 『足立区教育長講演』

足立

去る2月28日に足立区学校歯科医会主催・公益社団法人足立区歯科医師会学保委員会共催で足立区の教育長の定野様に『たくましく生き抜く力育む足立の教育～よき学習習慣はよき生活習慣から～』というテーマで講演をして頂きました。

教育長の講演は、足立区生まれの足立区育ちから始まり、理系大学卒業後いかに区役所に就職したかなど面白おかしく話され、いきなり聴講者の心をわしづかみしました。

講演内容は足立区教育大綱（28年2月策定）の2本柱で、1. 誰もが子どもを支える主役、2. 貧困の連鎖を断ち切る教育。それらより、乳幼児期より早め・丁寧・切れ目の無いアプローチが必要、成長を実感出来る教育として子ども達には「できた」「わかった」の喜びを、教師には教えることのすばらしさを、地域・保護者には見守ることの生きがい、などを持たせること。

第4次産業革命により人工知能が仕事を換え、教育を変えることから大人になってどのような仕事をするかではなく、どのように仕事をするかに変わる。



足立区では、昨年度の区内の小学1年生全世帯対象に『子どもの健康・生活実態調査』を行い、生活困難世帯（1047世帯24.8%）と非生活困難世帯を対比し、グラフ化して説明された。又、小・中で、就学援助率と学力テスト正答率・むし歯の未処置率の相関の図を出され、相関図の中で足立区の位置を示された。又、学力と生活習慣の歯みがきをしている・していないで年をとるごとに学力差が出ている図を示された。

又、未就学児（4・5・6歳児）のあだちっ子歯科健診実地状況が示され、最後に自分の力で健康な歯と歯肉を保つことを目標とさせ、さらに自信を持たせるには、やることとやってはいけないことを列挙され終演となった。

翌日に保険の講習会があり、歯科医師会会員の出席率が余り宜しくなかったのが返す返すも残念だった。

（岡谷 進）

平成29年度第1回学校歯科保健活動発表会

麻布赤坂

平成29年4月19日（水）19時30分より、港区麻布赤坂歯科医師会事務所に於いて上記発表会を開催いたしました。この発表会は昨年からの試みで、各会員の日常の学校歯科保健活動を発表していただき、それぞれの今後の活動の参考にしてもらおうという事で始めました。今後は年2回くらいの開催で全会員に発表していただく予定であります。

今回は飯倉保育園の小熊 総先生と南山小学校の関根正行先生の当会ではベテランの先生をお願いをして、先生方の保育園や学校との関係の築き方から健康診断の方法、歯科講話の内容など普段聞けないお話を聞かせていただきました。



その後、昨年秋に学校歯科保健活動について当会会員にアンケート調査を行った結果を学校歯科保健教育検討委員会の2名の先生が報告をし、活動やその他の疑問点などについて活発なディスカッションが行われ終了いたしました。

（清水浩一）

第9回定時代議員会

平成29年6月8日（木）歯科医師会館1階大会議室で15時より開催されました（代議員68名中64名出席）。小嶋副会長の開会挨拶に続き、点呼、会長挨拶、来賓挨拶（丸山進一郎日学歯会長、高橋哲夫都歯会長、高橋英登都歯連盟会長）、議長・副議長選出（藤野代議員、鈴木代議員）、議事録署名人選出（星野代議員、高木代議員）に続き、渡邊理事による黙祷、会務報告、長沼理事による会計現況報告がなされました。議事にうつり、第1号議案について鈴木専務理事が、第2号議案について高橋裕幸理事が説明しました。

第1号議案 平成28度事業報告及びその附属明細書

第2号議案 平成28年度貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録

予算決算特別委員会の澤委員長より報告がなされ、吉田監事による監査報告を受け、議案は可決されました。

第3号議案 予算決算特別委員会委員及び予備委員の選任

第4号議案 選挙管理委員会委員及び予備委員の選任



第5号議案 日本学校歯科医会代表会員及び予備代表会員の選任

第6号議案 役員の選任

第3～6号議案について鈴木専務理事から上程理由が説明され、議案は可決されました。6号議案については泉先生による選挙管理委員会委員会報告のあと可決確定されました。

その後、協議事項に移り、橋本代議員、松田代議員、土方代議員、幸阪代議員より貴重なご意見、ご要望がだされ、末高副会長が閉会の挨拶をされ、終了致しました。

平成29年度 各種大会・研修会日程

■ 第74回 全国小学生歯みがき大会

平成29年6月1日（木）～10日（土）

今年度よりDVD教材を使用し参加校が実施する。

■ 平成29年度健康づくりフォーラム

平成29年7月25日（火）

都庁

■ 第68回関東甲信越静学校保健大会

平成29年8月10日（木）

山梨県 コラニー文化ホール

■ 第68回関東甲信越静学校保健歯科職域部会

平成29年8月10日（木）

山梨県 バルクラシック甲府

■ 第81回全国学校歯科保健研究大会

平成29年10月26日（木）～27日（金）

青森県「リンクステーションホール青森
（青森市文化会館）」

■ 第67回全国学校保健・安全研究大会
” 学校歯科医協議会

平成29年11月16日（木）～17日（金）

三重県 「三重県総合文化センター他」

■ 平成29年度学校保健（学校歯科医）研修会

平成29年（未定）

歯科医師会館 1階大会議室（予定）

■ 学校歯科医基礎研修会

※平成29年度は東京都学校歯科医会としては開催いたしませんので、日本学校歯科医会開催の研修会のご案内を地区の参事経由でさせていただきます。

■ 第52回東京都学校歯科保健研究大会

平成30年2月1日（木）（開催予定）

文京シビック大ホール（予定）

会 務 報 告

【訃 報】

杉 並 鈴木 隆徳 (杉並区立高円寺中学校) H28. 10. 1ご逝去
大 森 久保 裕之 (大田区立雪谷中学校) H29. 4. 2ご逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)